

- ・環境がなければ自分たちでつくる
- ・判断基準は、相手を笑顔にできているか
- ・つらい作業も、その先で誰かを笑顔にできるなら意味がある
- そして、仕事を『事業』から『仕事』へと変えるのは、「人とのつながりを楽しめる視点」だということ。
- 誰かを支え、誰かに支えられながら社会は動いているという言葉には力がありました。
- また登壇者は、「やりがいが見えないとき

(精神 加藤さん)

教育、そして伝統文化といつた多様な分野の第一線で活躍される方が登壇され、女性の活躍する機会や場面は僅かずつでも確実に広がっていることを実感できました。

が担保された社会の仕組み作りへという目標は皆さん共通しており、機知に富んだお話をからでは学ぶことが多く、領域も立場も異なれど今後自分の仕事との向き合い方に役立てていけそうですね。

販売促進というよりも、女性に多い疾患に気づき、受診を勧めるような啓発的な内容でした。社会課題とビジネスのマッチング、どの企業も新しいアイデアを模索しているようです。

「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2026」授賞式では、2002年からケニアにわたり

のだと。こども病院で働く身として、すべてのお子さんが自分らしい生き方ができるようなサポートをこれからもしていきたいと思います。

議案の説明

- 2026年度運動万針
○職場をめぐる状況
・がんセンター
研究所とともに高度
で先進的な治療を行う
特定機能病院として、
人への投資は必要。人
員増を勝ち取れるよう
に取り組む。

また、新がんセンター
整備については、隨時
情報提供を求めるなど
もに、実際に新がんセ
ンターで働く世代の意
見を聞いていく。

○働きかしのある職場
づくり
・各種ハラスメント防
止

メントは、被害者の周囲にいる職員のメンタルにも影響を及ぼします。そして、生産性の低下や退職者の増加といった問題を引き起すため軽視できない。

2026年度予算

県職連合で組合員用アプリが導入予定だが、県職連合の他の支出の見直しにより、病院組合から県職連合への負担金は25年度とほぼ同じ額となる。なお収入は減少見込みとなる。

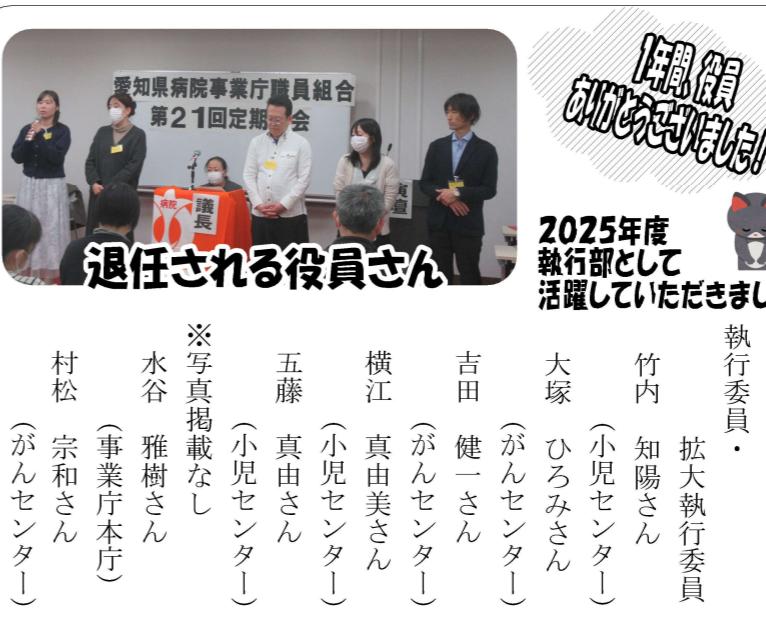
2026年度予算

W O M A N E X P
O 2 0 2 5 W i n t
e r に初参加し、その
規模と熱量に圧倒され
ました。会場いっぱい
に並ぶ企業ブースでは
最新のサービスや商品
に触れられ、たくさん
のサンプルもいただき
ました。

そして私が選んだのは「人生はいつだって『書き換え可能』」と
いうテーマの講演です。登壇者は、デパート、

旅行会社では、やりたい仕事ができたものの、組織内でのコミュニケーションに課題を抱え、「成果には正しさだけでなく、伝え方・動き方の成熟が必要」と痛感したそうです。

議員秘書として働いた時期には、「自分が主として動ける『領域を創る力』」の重要性に気づき、無職の期間が一致していることの大切さ」を学んだといいます。



WOMAN EXPO 2025

自分らしく輝く
すべてのワーキングウーマンのために Winter レポート

11月29日（土）東京ミッドタウンにおいて
WOMAN EXPO 2025 Winterが開催されました。
組合員から6名参加しました。そのレポート第1弾をお届けします！

旅行会社、議員秘書、
そして無戦期間を経て